



自分を信じる力を育てたい

先日、こうま組の子から、「テグミーというおもちゃが足りない。もっと欲しい」と声をかけてもらいました。クリスマスにサンタにもらったおもちゃが思いのほか人気で、みんなで遊ぼうとするとピースが足りなくなるようです。早速、一番大きなセットを追加で購入し、「気づけなくてごめんね。足りないものがあったら教えてね」と伝えながら渡しました。子どもたちには、園生活の中で「もっとこうだったらいいのにな」と自ら発信し、それが叶うことで生活がより良くなっていく経験を、しっかりと味わってほしいと思っています。

子どもたちはいずれ大人になり、社会へと出ていきます。その時、社会を「大人が用意した変えられない箱」ではなく、自分たちで「より良くできる可能性がある」と心から信じてほしいです。そのためにも、子どもたちの声に耳を傾けながら、限りあるリソースを有効活用して、一緒にこの「小さな社会」を作っていきたいと思います。

園長 山田 裕宇記